

「第3期行財政改革プラン」の令和元年度実績について(報告)

市では、平成27年度から令和元年度までの5か年間を計画期間として、「行政力の向上」「財政力の向上」「組織力の向上」の3つの柱を改革の視点に掲げ、効率的、効果的な行政運営の確立を目指した行財政改革に取り組んで参りました。

このたび、令和元年度の取組み状況をとりとまとめましたので、その実績の概要をお知らせいたします。

●令和元年度の主な取組み実績 【効果額】 7億2,708万円

【行政力の向上】 3億3,187万円

○行政事務の効率化

- ・AIを活用した議事録作成支援システムの導入
- ・指定管理施設の公募選定による管理経費の縮減 ほか

○公共施設のあり方の検討

- ・中央公民館喜志分館の管理体制の見直しによる経費の削減
- ・学校給食センターの統合による運営経費の削減 ほか

○外郭団体の見直し

- ・ケアセンター出資金の返還

【財政力の向上】 3億3,089万円

○財政運営の効率化

- ・地方公会計の整備にかかる統一的基準による財務書類の公開
- ・基金の効率的な運用 ほか

○歳入の確保

- ・施設使用料の改定による収入の増加
- ・普通財産(未利用地)の売却による収入の確保 ほか

○歳出の最適化

- ・放置自転車等防止対策等の見直し ほか

○公営企業の健全経営

- ・給与の総合的見直しによる人件費の抑制 ほか

【組織力の向上】 6,432万円

○組織・機構の適正化

- ・プロジェクトチーム(増進型地域福祉推進、若者施策推進、公民連携デスク)の設置等、機構再編及び事務分掌の見直し ほか

○定数・給与の適正管理

- ・給与の総合的見直しによる人件費の抑制 ほか

○市民協働の推進

- ・図書館事業における市民団体との協働事業の推進
- ・放課後児童健全育成事業(学童保育)と放課後子ども教室事業との連携 ほか